遺伝性溶血性貧血	2	遺伝性球状赤血球症	検査で血中ヘモグロビン値10ｇ／dL以下又は赤血球数350万／μL以下の状態が持続する場合
	3	鎌状赤血球症	治療で補充療法、Ｇ－ＣＳＦ療法、除鉄剤の投与、抗凝固療法、ステロイド薬の投与、免疫抑制薬の投与、抗腫瘍薬の投与、再発予防法、造血幹細胞移植、腹膜透析又は血液透析のうち一つ以上を実施する場合
	4	グルコース－６－リン酸脱水素酵素欠乏症	検査で血中ヘモグロビン値10ｇ／dL以下又は赤血球数350万／μL以下の状態が持続する場合
	5	口唇赤血球症	治療で補充療法を行っている場合
	6	サラセミア	治療で継続的に補充療法若しくは除鉄剤の投与を行っている場合又は造血幹細胞移植を実施する場合
	7	ピルビン酸キナーゼ欠乏性貧血	検査で血中ヘモグロビン値10ｇ／dL以下又は赤血球数350万／μL以下の状態が持続する場合
	8	不安定ヘモグロビン症	治療で継続的に補充療法若しくは除鉄剤の投与を行っている場合又は造血幹細胞移植を実施する場合
	9	２から８までに掲げるもののほか、遺伝性溶血性貧血	治療で補充療法を行っている場合
カサバッハ・メリット症候群	10	カサバッハ・メリット症候群	治療で補充療法、Ｇ－ＣＳＦ療法、除鉄剤の投与、抗凝固療法、ステロイド薬の投与、免疫抑制薬の投与、抗腫瘍薬の投与、再発予防法、造血幹細胞移植、腹膜透析又は血液透析のうち一つ以上を実施する場合
家族性赤血球増加症	11	家族性赤血球増加症	血栓症の既往がある場合又は治療で抗凝固療法を行っている場合
巨赤芽球性貧血	12	巨赤芽球性貧血	治療で補充療法を行っている場合
血小板機能異常症	13	血小板放出機構異常症	治療で補充療法、Ｇ－ＣＳＦ療法、除鉄剤の投与、抗凝固療法、ステロイド薬の投与、免疫抑制薬の投与、抗腫瘍薬の投与、再発予防法、造血幹細胞移植、腹膜透析又は血液透析のうち一つ以上を実施する場合
	14	血小板無力症	同上
	15	ベルナール・スーリエ症候群	同上
	16	13から15までに掲げるもののほか、血小板機能異常症	同上
血小板減少症（脾機能亢進症によるものをいう。）	17	血小板減少症（脾機能亢進症によるものに限る。）	治療で補充療法、Ｇ－ＣＳＦ療法、除鉄剤の投与、抗凝固療法、ステロイド薬の投与、免疫抑制薬の投与、抗腫瘍薬の投与、再発予防法、造血幹細胞移植、腹膜透析又は血液透析のうち一つ以上を実施する場合
血小板減少性紫斑病	18	免疫性血小板減少性紫斑病	治療で補充療法、Ｇ－ＣＳＦ療法、除鉄剤の投与、抗凝固療法、ステロイド薬の投与、免疫抑制薬の投与、抗腫瘍薬の投与、再発予防法、造血幹細胞移植、腹膜透析又は血液透析のうち一つ以上を実施する場合
	19	18に掲げるもののほか、血小板減少性紫斑病	同上
血栓性血小板減少性紫斑病	20	血栓性血小板減少性紫斑病	治療で補充療法、Ｇ－ＣＳＦ療法、除鉄剤の投与、抗凝固療法、ステロイド薬の投与、免疫抑制薬の投与、抗腫瘍薬の投与、再発予防法、造血幹細胞移植、腹膜透析又は血液透析のうち一つ以上を実施する場合
骨髄線維症	21	骨髄線維症	治療で補充療法、Ｇ－ＣＳＦ療法、除鉄剤の投与、抗凝固療法、ステロイド薬の投与、免疫抑制薬の投与、抗腫瘍薬の投与、再発予防法、造血幹細胞移植、腹膜透析又は血液透析のうち一つ以上を実施する場合
再生不良性貧血	22	再生不良性貧血	治療で補充療法、Ｇ－ＣＳＦ療法、除鉄剤の投与、抗凝固療法、ステロイド薬の投与、免疫抑制薬の投与、抗腫瘍薬の投与、再発予防法、造血幹細胞移植、腹膜透析又は血液透析のうち一つ以上を実施する場合
自己免疫性溶血性貧血	23	寒冷凝集素症	治療で補充療法、Ｇ－ＣＳＦ療法、除鉄剤の投与、抗凝固療法、ステロイド薬の投与、免疫抑制薬の投与、抗腫瘍薬の投与、再発予防法、造血幹細胞移植、腹膜透析又は血液透析のうち一つ以上を実施する場合
	24	発作性寒冷ヘモグロビン尿症	同上
	25	23及び24に掲げるもののほか、自己免疫性溶血性貧血（ＡＩＨＡを含む。）	同上